

## 第4回 第3次江田島市総合計画審議会 議事録

### ■日時・場所

日時： 令和6年1月24日（木） 9:30～

場所： 江田島コミュニティセンター

### ■次第

1.開会

2.会長あいさつ

3.協議事項

(1) 第3次江田島市総合計画基本構想（案）に対するパブリックコメントについて

(2) 第3次江田島市総合計画基本構想（案）について

(3) 第3次江田島市総合計画基本構想（案）の答申について

4.その他について

5.閉会

欠席：あり

代理出席：永井委員（広島県DX推進チーム）→尾下主任

前川委員（広島県健康福祉局医療介護基盤係）→西山主査

### ■会議風景



■参加者

\* 敬称略・順不同

属性	氏名	所属	出席
委員	永井 匠	広島県 DX 推進チーム 政策監	欠席
	尾下 翔一	広島県 DX 推進チーム 主任（上記代理出席）	出席
委員	前川 昌士	広島県健康福祉局医療介護基盤課 担当監	欠席
	西山 浩士	広島県健康福祉局医療介護基盤課 主査（上記代理出席）	出席
委員	高先 泰弘	江田島市 PTA 連合会 副会長	出席
委員	今井 雅敏	一般社団法人広島県観光連盟 経営企画・マーケティング事業部長	出席
委員	藤谷 吉秀	広島県地域政策局中山間地域振興課 課長	出席
委員	長坂 睦子	江田島市教育委員会 教育委員	出席
委員	濱谷 一眞	江田島市自治会連合会 会長	出席
委員	森下 恵子	認定こども園保護者会 代表	出席
委員	森藤 清彦	安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長	出席
副会長	堂野崎 平	江田島市社会福祉協議会 会長	出席
委員	小原 正清	江田島市農業委員会 会長	出席
委員	吉岡 憲伸	江田島漁業振興協議会 監事	出席
委員	泊野 秀三	江田島市商工会 事務局長	出席
委員	中野 伸一	江田島市観光協会 事務局長	出席
委員	山縣 透	公益財団法人ひろしま国際センター 交流部長（兼）総務課長	出席
会長	上水流 久彦	県立広島大学 地域基盤研究機構長 教授	出席
委員	塚井 誠人	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 社会基盤環境工学プログラム 准教授	欠席
事務局	畑河内 真	江田島市 企画部 部長	出席
事務局	飴野 秀樹	江田島市 企画部 企画振興課 課長	出席
事務局	重田あゆみ	江田島市 企画部 企画振興課 課長補佐	出席
事務局	花野 大介	江田島市 企画部 企画振興課 企画係長	出席
事務局	吉田 大輔	江田島市 企画部 企画振興課 企画係主任	出席
事務局	八木 周吾	ランドブレイン株式会社 広島事務所 所長	出席
事務局	駒井 達也	ランドブレイン株式会社 広島事務所 所長補佐	出席
事務局	三木 脩平	ランドブレイン株式会社 広島事務所 主任	出席

## ■記録

### 1.開会

－ 事務局より開会あいさつ（記録省略） －

### 2.会長あいさつ

会 長	この会もいよいよ大詰めということで、パブリックコメントをもらい、その中身を検討した上で、最終的な答申を作ることになっています。 本日もさまざまな意見をもらい、有意義な会にしていきたいと思っています。
-----	--

### 3.協議事項

(1) 第3次江田島市総合計画基本構想（案）に対するパブリックコメントについて

－ 事務局より説明（記録省略） －

委 員	医療関係者であるため、この資料1の4ページNo.29の産婦人科について確認したいことがあります。今まで、産婦人科についてはどのように可能性を探ってきましたか。「引き続き可能性を探ってまいります」とあります。
-----	---

事 務 局	医療の対応については、基本的には県の医療圏に沿って、やられていると思います。江田島市としても、それに沿っています。具体的にいうと、医師を引っ張ってくることができるかという、これは医師がいるかどうか次第であり、なかなか難しい部分があります。その中で、可能性としては、まだアイデアベースではありますが、例えば遠隔診療など、そのようなことをできないかという議論を進めています。その他にも、江田島市内に来ることが難しいようであれば、近隣市町の産婦人科を受診する際の助成など、そのようなことを検討しているのが現状です。今おこなっているのはそのようなことですが、今後もし江田島市内に産婦人科を開業したいという人がいれば、それに対して支援ができると思い、とりあえずこのような書き方をしています。
-------	--

委 員	産婦人科は、分娩施設があるかないかで全く話が違ってきます。分娩施設でないのであれば、産婦人科医が1人ここで行いたいといえ、それは可能だと思います。分娩施設となると、広島市内など、一般に開業している人の年間分娩数は600ぐらいでやっと足し引きゼロになるぐらいです。年に60人のこの出生数では、とてもではないですが、分娩施設は無理だと思います。1人で行うわけではなく、スタッフも含めて24時間対応する必要があります。60人だと江田島市内に産婦人科の分娩施設は、今の状況では無理だと思います。
-----	---

会 長	委員のいうとおりだと思います。ただここで諦めると、「書けないので、可能性を探っておきます」という回答になると、私自身は理解しています。 私から1点だけ提案があります。私も事前資料をもらっていましたが、今見ながら1点だけ気になった部分を提案したいと思います。資料1の2ページNo.1で、多用されている「みんな」とは、その都度誰をさしているのでしょうか、という質問です。回答は、私はこれで十分よいと思っています。ですが、改めてこの総合計画を見ていた時に、例えば資料2の2ページの(1)「めぎすまちの姿」を実現する
-----	---

ため、みんなで目標に向かって進んでいく計画という段落で、市民、企業（事業者）、団体、行政等の各主体とあります。もう1点は、16ページのめざす姿で、豊かな恵みとぬくもりで みんなが輝き活躍できる えたじまと書いてあり、そこにみんなが支え合える、という言葉が出てきています。ただ、ここで気になった点は、江田島市のポイントは、市内に住んでいる人もですが、市外に住んでいる人、移住してくる人も重要だと思います。この市内外という言葉が大事だと、私自身は思いました。ですが、この基本構想の中には、実は市内外という言葉は、出てきていません。読んでみたのですが、見落としていたらすみません。ということで1点のみ、それを書き込みたいと思いました。さすがに上の大きく書いてあるめざす姿の中に書くことはどうかと思ったため、この16ページ5段落目の、したがってと始まる段落で、3行目の江田島に関わる、という部分に入れてほしいと思います。市内外という、この回答にある部分ですが、市内外の江田島市に関わる、という一言を入れてもらえませんか。こだわり過ぎかもしれませんが、この「みんな」という言葉は、確かにどこにも説明がないと思いました。まさしく、この回答にある答えがどこかにあればよかったと、改めて思いました。まずは委員の方々、それから事務局も、「いやいや、もう率直に事務局としては、そこまでこだわらなくても」と思えば、そう答えてもよいと思います。委員の方々も、「まあまあ、原案のとおりでいいんじゃない」ということであれば、原案のままでもよいと思います。委員長の意見が全部ではありません。

事務局 会長 全 員 会 長	事務局としては、この審議会の中でそれがよいということであれば、追加します。 入れてもよいですか。 (賛成) その一言、文言を、最後の最後に申し訳ないですが、変えたいと思います。 では回答に関して、今ここにある回答ですが、No.1に関しては、先ほどの言葉を構想本文に取り入れることになります。そのため、回答の文面は事務局に一任して検討してもらうことになりますが、それでよいですか。
全 員 会 長	(賛成) それでは、パブリックコメントに関する回答については、一部修正しますが、このようなかたちで行うことを決定します。

(2) 第3次江田島市総合計画基本構想（案）について

－ 事務局より説明（記録省略） －

委 員	前回私が提案したことについて質問があります。資料2の20ページの基本計画の3 福祉・保健で、健康長寿をうたったかどうかと提案しました。一応検討するという回答をもらいましたが、文中は健康で長く、となっています。健康という言葉はよいですが、健康で長くという言葉は変えた方がよいと思います。あの時、健康長寿という言葉を入れてほしいといいました。
事 務 局	前回、委員からもらった意見を取り入れ、事務局でこの文章を作りました。そし

て、担当の福祉部署に確認し、この記述で進めるということで、今回このようにしています。

補足しますと、健康で長く安心という文章は、健康で長生きするだけではなく、健康寿命、健康な状態で長く暮らしていく、ということの意味をしています。同じことをいっていますが、ニュアンスとしてはそのようなことをいいたいと思っていました。健康を保った状態で長く暮らしていく、そのような気持ちを込めて、このような表現にしました。そうではないということであれば、ここは変えることは可能です。趣旨としては、そのようなことです。

委員 健康で長くという言葉は、意味が弱いです。この文章だと、明確に長寿につながると思いません。健康で長くではなく、違う要素がほしいです。長くという言葉が変われば、また違うと思います。不明瞭だと私は思います。

会長 例えば、率直に変えるとすると、「健康長寿で」安心してとするならば、字数も変わらず入りますが、健康長寿でという文言にするということですか。そちらが、健康で長くより明確だということですか。どちらにしても、安心してという言葉は必要のため、健康で長く、もしくは健康長寿でということですか。

委員の方々から意見をもらっているため、できれば委員の意見を踏まえながら作成していきたいというのが私の方針です。もしよければ、委員が納得しているなら、健康長寿でという言葉はどうか。この書き方でよいですか。

委員 健康で長生きしているということの意味しているため、私としてはその方が明確だと思います。

会長 わかりました。長生きしていくということで、「健康長寿で安心して」というかたちで、ここは修正を行います。

私から1点だけ意見があります。どこまで統一されているのか確認したいという点です。多文化共生という観点から見た場合、実は元号だけという点は、非常に見にくいと思っています。資料2の表紙が、令和6年1月となっていますが、私自身としては、令和6(2024)年と入れてほしいです。私は西暦も入れるようにお願いしています。外国人にとって、今の令和という元号はよいのですが、さかのぼるとみんなわからなくなります。実は2ページでは、令和7(2025)年～令和16(2034)年となっており、ここは和暦の後にカッコがついて西暦が入っています。そのような書き方に統一するというので、表紙もそのようにしてほしいです。また、6ページ左上は、本当に細かいですが、こちらは2020(令和2)となっており、先ほどとは逆パターンです。どちらかに統一してほしいです。さすがに2050年を令和で数えるとどうなるかわからないため、7ページ右上は2050年と、令和は入れてありませんね。ですが、令和と入れると字数が増えてよくないため、ここは2050年でよいと思います。いつまで令和が続くか不明です。そのような部分を、一度見直してほしいです。ただ、出典については、例えば8ページ左下に、国勢調査(令和2年)と書いてあります。出典が令和2年であるものは、基本的にそのままだと思っています。そうでない部分は修正してほしいです。出典はよいのですが、特に本文では西暦を入れる点と、西暦と和暦どちらを先に書くのか統一してほしいです。

細かい部分で申し訳ないですが、よろしく願います。これはこれでよいと思いますが、よろしいですか。

全  
委  
員

員  
（賛成）

20 ページの 3 施策体系について提案です。私も前回いえばよかったのですが、ここに大事なことが 1 点抜けていると思いました。先ほど資料 1 について話がありましたが、1 ページの No.9 から 15 までは少子化の話です。「人口減にある中で、江田島市はこのままでよいのか」という意見です。やはり、この少子化対策として、なんらかの手を打ち、対応することは、この施策体系の中に全く載っていません。やはり、そのようなものは、今から全国的に少子化対策に向けて対応されていくと考えています。江田島市としてもこの人口減に対して、どうやって子どもを増やしていくのか考える必要があると思います。将来減るということではなく、どうすれば人が増えるのか、どうやって市外から、この江田島市に人を引っ張ってくるのか、考えることが必要だと思います。または、この江田島市から外へ人が出ていくのを止めないと、この人口減は全然止めることができないと思います。私が見た感じ、それがこの施策体系の中に載っていないため、もしあれば入れた方がよいと思います。これは社会基盤、もしくは安全・安心、どちらの分野に入るのか、それかどうかはわかりません。そのようなことを 1 点入れた方がよいと思います。皆さんにこうやってせっかくいろいろな意見をもらっています。その後私も前から、前回の時もそのような質問がありました。やはり、これは、今後将来にとって考えていく必要があると思い、今質問しました。

会

長

ここは先に私から考えを述べたいと思います。委員が仰ったことは、非常に正当であり、大事なことだと思います。ですが、一方で違う考え方も私の中にあるため、述べたいと思います。それはなにかというと、少子化対策といいますか、子どもが沢山増えるということは、おそらく様々な良い施策を行った後の結果だと、私自身は思っています。最初に掲げる目標ではないと、実は私は思っています。「それはどういうことだ」という意見があるかもしれません。といいますのは、要は子どもを産んでくださいという話は、極端な話、いろいろな人がいろいろな自分のライフスタイルを考えた時、または子どもがほしくても子どもを産むことができない人たちがいる中で、子どもを産むことを少子化対策として出すことは、私自身は、本当に多様な生き方があると思うため、結果的に、市全体で子どもが増えてくれたら、それは私も嬉しいし、ハッピーだと思います。ですが、それが目標としてあるのではなく、住みやすい、とても楽しいまちができた結果、やはり子どもたちが増えていったという結果だと、私自身は考えています。今委員がいったことは、非常に大切な意見で、重要だと思っていますが、私個人としては、20 ページに少子化対策について入れることは、逆に「じゃあ子どもが産めないとか、産まない人たちってどうなるのか」といったような、今度は違う意見も出てくると思います。

委員が仰ることは、実は 17 ページに書いてあります。人口減少・少子高齢化や、産業や地域の担い手不足の加速化により、このままだと、江田島市の活力が低下、と書いてあります。正直にいうと、これは事実だと思います。事実のため、これは書いてあってもよいと思っています。やはりこのような部分で、単に少子高齢化、

こどもが減るだけでなく、いろいろな意味で担い手不足や若者世代の流出などを含めて、どうも江田島市での暮らしが少し不便になるだろうと書いてあります。そのため、ここからくみ取る人はくみ取ってもらったらよいというのが、私の気持ちです。自然増を増やそうということも、人口指標としては自然増も入っています。これはこれで、こどもを産みやすい環境を作るという意味で、それは入ってもよいと思います。20 ページに少子化に対応した内容を入れることは、説明ではなく最後の施策体系であるがゆえに、他の部分でそのニュアンスを醸し出しているため入れなくてもよいのではないかと、率直に私自身は思っています。

委員長 会長のいうとおり、私のいいようによっては、差別的な発言にも聞こえるかもしれません。言い方によってはです。そのように、産みたくても産むことができない人もいますし、結婚したくてもできない人がいます。そのようなことも踏まえると、その問題に対してどう表現すればよいか、非常に難しいと思います。今会長がいったように、一応他のページにもわたって書いてあるように、江田島市にとって重要なため、ここに書いてあると思います。ですが、「少子化という前に人を増やすことを考えんさい。なにを考えとるん」という思いがあります。

そのため、やはり人を増やしていくためにどうすればよいのかということになれば、子育て世代をこの江田島市に増やしていくことだと思えます。そうしないと、人口は増えません。いくら、言葉では書いてあったとしても、やはりそれなりの目標値を持ち、なんらかの増やす方法を考えていかないと、おそらくこのまま進んでいくと、まちが終わると思えます。やはり、それに対してなにか手を打つことはこの状況の中で大事だと思えます。しかし、細かい取組については次の基本計画や実施計画などでうたっていくと聞いていますが、最初の大きい流れにいった方が、私は市民に対して明確になると思えます。「よく少子化少子化って市長がいつてるけど、実際どれだけ取組をしているの？最初の大きい目的に載ってるの？」ということになると思えます。そのような意味で言いました。

会長 委員の思いや意図は十分承知しています。繰り返しになりますが、今 17 ページに書いてあり、委員のいうことは、当然そのようなことを組み込まれていることは、私も理解しています。20 ページに、私もどこかにそのような、少子化かということではなく、人口増ということも考えながら見ていましたが、具体的な文言を入れることができないという中で、今回この施策体系は、先ほどの「健康長寿」という部分を変えた以外は、原案のままで進めさせていただくことでお願いできればと思います。よろしいですか。

全員 (賛成)

会長 それでは、この総合計画の基本構想に関しては、このようなかたちで審議会の承認を得たこととします。

### (3) 第3次江田島市総合計画基本構想(案)の答申について

－ 事務局より説明(記録省略) －

会長 内容に関しては、最初の2行はそのままでの意味合いであり、答申も皆さんに検討

してもらった案が妥当だと、会長として伝えました。それに基づいて、総合計画の実施計画を作ってほしいと、お願いする文面になっています。特段問題ないと思いますが、このかたちでよいでしょうか。

全  
会

員  
長

(賛成)

それでは協議事項の3番目についても、承認を得たということで、終えたいと思います。

4.閉会

以上